

平成31年2月14日

事業者 各位

関東運輸局
自動車技術安全部長

大型自動車等の車輪脱落事故防止について

標記については、機会あるごとに注意喚起してきたところですが、今年度（昨年4月～1月）関東運輸局管内の事業者において発生したホイール・ボルト折損やホイール・ナットの緩み等による大型自動車の車輪脱落事故件数は10件であり、前年度の発生件数5件と比較して多い状況となっており、一部では脱落したタイヤとの接触により負傷者も出ています。

この10件を見ると、10月に3件、12月以降に5件発生しており、事故原因は、ホイール・ナットの締め付け不足2件、タイヤ交換後の増し締め未実施3件、日常（運行前）点検における確認不足4件、スチールホイールにアルミホイール用ナットの使用1件と推測されます。

また、平成14年～29年における月別車輪脱落事故統計によると、冬期に集中して発生し、特に2月の発生件数が最多となっていることから、これからも予断を許さない状況です。

つきましては、同種事故を防止するため、下記「車輪脱落事故防止のための4つのポイント」の確実な実施について、改めて徹底をお願いいたします。

記

「車輪脱落事故防止のための4つのポイント」

1. ホイール・ナットの規定トルクでの確実な締め付け
2. タイヤ交換後、50～100km 走行後の増し絞めの実施
3. 日常（運行前）点検における確認
4. ホイールに適合したボルト及びナットの使用

【参考：国土交通省報道発表資料】

大型車の車輪脱落事故が増加！特に左後輪に注意！

～平成29年度大型車の車輪脱落事故発生状況を受けて～

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000202.html